

議 事 概 要

会 議 名	平成 27 年度 第 10 回 海津市地域公共交通会議
日 時	平成 28 年 1 月 12 日（火） 10：00～11：30
場 所	海津市役所東館 4 階 災害対策本部室
出 席 者	委員 20 名 教育委員会 2 名・事務局 6 名
議題・報告事項	議題 1 「海津市キッズパスポート」の廃止について 資料 1 議題 2 「かいづっち養老鉄道応援パスポート」の発売について 資料 2 議題 3 海津市コミュニティバス利用状況について 資料 3 議題 4 海津市コミュニティバス デマンド交通の停留所について 資料 4 議題 5 事業評価について 資料 5
議事概要	

議題

議題 1 海津市キッズパスポートの廃止について

議題 2 かいづっち養老鉄道応援パスポートの発売について

○教育委員会からの説明（資料 1、2 に基づき説明）

- ・海津市キッズパスポートの廃止について
- ・かいづっち養老鉄道応援パスポートの発売について

○委員からの質問・回答、意見等

- ・スクールバスを利用する方からお金はいただくのでしょうか。

→高須小学校のスクールバスですが、今までも通学助成という形でコミュニティバスを市の方で補てんしておりました。スクールバスに代わっても保護者負担はございません。

- ・再編後、中学の登校利用で養老鉄道を利用せざるを得なくなった人は、どのくらいですか。

→来年度ですが、下多度小学校区からは約 50 名、石津小学校区からは約 190 名おみえになります。

現在のキッズパスポート利用者は下多度校区では 54 名おられます。

10 月の段階で石津からの指定校変更という形で養老鉄道を利用している生徒を含め 56～57 名みえるという状態でございます。

- ・学校の統合によって利用せざるを得ない生徒の個人負担はどうかと思います。今の 57 名くらいの人分で海津市としていくらの出費になるのですか。やはり個人負担ではなく市でやっていくべきだと思っていますがいかがでしょうか。

→義務教育なので、通学費は保護者負担ではない方がいいというご意見もあります。現在 3,200 円の負担になりますが、統合の説明会で、ある程度負担はお願いして、ご理解ご了解していただいています。

- ・個人的には、少子化になってきて、なおかつ交通不便で個人負担が増えると、少子化問題に対しても懸念があると思います。できれば義務教育の間は市で補助していただきたいと考えています。

→教育委員会等で検討させていただきますのでよろしくお願いいたします。

- ・予算措置は今回どのくらい減るのですか、今回予定している人数はどのくらい予想されているのですか。

→保護者のアンケートでは、松山駅で 130 名、石津駅から 25 名で、190 名のうち約 9 割 5 分が電車を利用したいということでした。実際、下多度地区は 54 名の内半分くらいは自転車通学しておられます。教育委員会としては、石津地区は下多度地区とあわせて 140 名から 160 名ほどの利用を予測しております。

予算措置につきましては上限として 600 万円として養老鉄道さんにご協力いただいております。

・1点だけ確認させていただきたいのですが、発売枚数はほぼすべてが通学に使う方ですか。

→すべてというわけではありません。下多度地区の方につきましては、天気の良い日、部活利用など、54名のうち通常で使っておられるのが30名前後だと思います。

・今回コミュニティバスの再編でスグールバスになったところは利用がないということによいですね。

→はい、そうです。

・養老鉄道のパスポート、日割りなど手続きは決められていますか。

→日割りはございません。発売を4月から12月まで5,000円ということでご了解いただいています。

○原案のとおり承認

議題3 海津市コミュニティバス利用状況について

○事務局からの説明（資料3に基づき説明）

・海津市コミュニティバス利用状況について

○委員からの質問・回答、意見等

・1点は一週間前から予約ということで、予約の仕方で利用者の方から特殊な予約の仕方をされる方はいますか。

例えば1週間前ですと、毎日その時間にまとめて予約してしまう等、確認したいと思います。また、予約の断り状況に関して、ほぼ毎日あるのは多すぎる気がするので改善が必要ではないか。オペレーターが上手く乗り合い調整はできると思います。そのへんはオペレーターの技量かと思いますが、今の段階では予約の断りが少し多いように思います。

乗り合い率について、できるだけ増やす方向に持って行っていただきたいと思います。

→特殊な予約についてですが、特に毎日利用している方で、「毎日乗るので1カ月先まで取りたい」ということであっても、毎日電話して1週間後の予約をしていただいています。

断り状況に関しては、デマンド運行も2か月になりスイトさんのオペレーターさんも上手になってきており、乗り合い率を高めるため努力していただいているところです。

また、システムも調整して乗り合い率をあげるよう、少しでも多くの方に利用していただけるよう努力しています。

・羽島線に乗ったとき感じたのですが、羽島からは先払いであることを知らない人が結構いてごたごたしたことがありました。乗った時にはっきり書いてなく分かりづらいので乗る前に分かる様にして欲しい。身障者の方が知らずに支払いをした後に、運転手が「もう何もできない」と対応しており、こうした対応もまずい。もっと分かりやすい表示をする必要があります。

2つ目は登録者のうちデマンド交通利用者が189名で26.2%で低いとのことですが、今後もっと多くの人にデマンド交通を知ってもらうためにどのような方法を考えておられるのかお聞きしたいと思います。私の周りでも利用の仕方がわからない人が結構おられます。

→海津羽島線の表示について、料金箱のところに表示していますが、分かりづらいようであれば、検討させていただき、分かりやすい表示を心掛けたいと思います。

デマンド交通の周知について、運行が始まる前から老人クラブの集まりや集会場などでデマンド交通の利用について説明をさせていただいておりますが、まだまだ不足していると感じています。そういった地域の集まりに参加させていただくと、まだコミュニティバスに乗ったことがない人も多くおられました。今後もデマンド交通をアピールしていきたいと考えております。

デマンドの便利さを、例えば一人暮らしの方が病院へ行くのに、離れて暮らす子供に送ってもらうことなくデマンド交通を利用して行けることなどもアピールしていきたいと思っています。

・海津市さんとしての考えですが、デマンドはバリアフリーになっていますが、路線バスについては、2ステップの古い車があります。高齢者も多いことからバリアフリー対応バスの導入に関して今後の見通しをお伺いしたい。

・今、新しいノンステップバスを導入する方向で予定しております。時期は今年度3月頃まで、また、海津羽島線以外についても新しいバスを導入していきたいと考えております。

・バリアフリーなどに関して海津市さんとしての方向性はいかがでしょうか。

→運行に関しては国の補助をもらいながら進めていますが、ノンステップバスの購入に関しては、スイトさん単独で進めておられます。できれば補助等考えて進めていきたいとは考えておりますが、スイトさんとは協定書を組んで、基本的に赤字補てんという形で進めておりますので、バスの導入に関しても市の支援という形になっています。

・新しいバスですと、1,500万から2,000万円近くなると思いますが、赤字補てんということであれば、原価償却費も経費として見るということですね。

→減価償却費も経費として見るということで、スイトさんとは協定しております。

議題4 海津市コミュニティバス デマンド交通の停留所について

○事務局からの説明（資料4に基づき説明）

・海津市コミュニティバス デマンド交通の停留所について

質疑等なし

○原案のとおり承認

議題5 事業評価について

○事務局からの説明（資料5に基づき説明）

- ・事業評価について

質疑等なし

○原案のとおり承認

その他

○委員からの意見等

- ・今日の議題について気づいた所を述べさせていただきます。

議題1 議題2についてですが、個人的な率直な意見としては、もったいないなと思います。海津市さんのキッズパスポートは、たいへん好事例で高く評価されているものがなくなってしまう。一方、教育委員会さんからすれば、予算の趣旨は通学のためであることは理解できます。ただ、子供たちが地元の公共交通にふれる機会が減ってしまうので、交通安全の教育などイベント等を継続しておこなって、地元の公共交通にふれる機会を考えていただけるとよいと思います。

議題3の利用状況に関して、今回定時定路線は値上げしても利用が変わっていないのでほっとしています。デマンドが悩ましいところで、5台の車で利用が1日72人くらい、他の市町と比べて人数としては少ないように感じます。一方で、乗り合い率は他より高い。これが何を意味しているかということ、1日1台あたり15人くらい、かつ乗り合い率がよいということは、おそらく1利用の距離が長いということです。それはデマンドの範囲が広がっているということと、定時定路線を工夫すれば乗っていただける可能性、乗り継いでいただける可能性があり、検討していただく必要があると思います。

今後利用が増えた場合、1台あたり1日15人くらいしか乗れないままだと単価が下がらないことになります。まだ2カ月なのでこれからデータを見ながら検討していただく必要があると思います。また、利用がないバス停が結構あります。バス停自体にコストはかからないとしても、利用がないバス停がたくさんあってもいいのかという問題があります。地元の人にバスを意識していただく、利用促進を図るとよいのではないかと思います。予約がとれない。電話がかかりにくい時間帯等については、しかるべき広報をしてストレスなく使用していただけるといいのではないかと思います。デマンドは使いにくいと感じるのも事実ですが、一方、実際使うと便利です。皆さんに使っていただくため、自治会や町内会での口コミなども利用して周知が必要です。

今後評価する場合、利用者数や費用面だけでなく、海津市さんのように広い場合、路線バスでは効果的な路線が面的に上手く引けず、非常に長い路線になってしまいます。デマンドでは上手く補足できるということで、利用が増えてきます。住民の数のベースで見ての利用比率、高齢者がどのくらいいるか等、様々な評価の仕方があると思います。

○事務局から今後の予定について説明

閉会